



学校だより

令和8年9月号(その2)

誠の花

発行 令和8年9月1日

かつらぎ町立渋田小学校

かつらぎ町東渋田 151-1

TEL 0736-22-2004

【教育目標】

やさしく かしく たくましい 児童の育成

全ての子供の学力向上をめざして

～全国学力・学習状況調査結果分析と取組～

令和8年4月23日に、全国の小学校6年生及び中学校3年生を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されました。今年度、小学校においては、国語、算数の2教科と、児童質問紙調査（学校や家庭での生活・学習に関する状況調査）が実施されました。

本調査の目的は次のとおりです。

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

一人一人に確かな学力を身に付けることは、学校の使命です。本校では、調査結果の分析を行うとともに、課題解決に向けての方策について協議し、全職員で取組を進めています。

以下のとおり、各教科・児童質問紙調査の結果分析及び「学校が取り組んでいく（取り組んでいる）こと」を整理しました。学力定着だけでなく、学力を身に付けるための基盤となる生活習慣や学習習慣の定着については、保護者の皆様の協力を得ながら取組を進めていきたいと考えています。

令和8年度全国学力・学習状況調査結果分析

国語は全国平均を上回り、算数は全国平均を下回りました。

次の表は、各教科の内容・領域別に、本校と全国の平均正答率の差を表したものです。

※上回る…◎（＋5％以上）、○（＋1％以上＋5％未満）

同程度…＝（－1％未満～＋1％未満）

下回る…△（－1％以上－5％未満）、▲（－5％以上）

教科	内容・領域	差
国語	言葉の特徴や使い方に関する事項	◎
	情報の扱い方に関する事項	△
	話すこと・聞くこと	＝
	書くこと	＝
	読むこと	◎
算数	数と計算	＝
	図形	▲
	測定	◎
	変化と関係	▲
	データの活用	△

【国語】 ○：成果 △：課題（学習学年）

○漢字を文章の中で正しく使う。（5年）

○比喩や反復などの表現の工夫に気付く。（5年）

○目的に応じて必要な情報を見付ける。（5年）

○文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめる。（5年）

△情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。（5年）

△筋道の通った文章となるように、構成や展開を考える。（5年）

【算数】○：成果 △：課題（学習学年）

○5/3 を表す目盛りが示された数直線上で、1 を表す目盛りを選ぶ。（3年）

△直方体の箱を構成する面について理解する。

（2・4年）

△体積の意味を理解する。（5年）

△百分率で表された割合と比較量から基準量を求める。基準量、比較量、割合の関係が正しく示された図を選ぶ。（5年）

△単位量当たりの大きさを求める除法の意味を理解し混み具合について判断する。（5年）

△二次元表から条件に合う数を読み取る。（4年）

【児童質問紙】

児童質問紙調査は、児童の学習意欲、生活習慣、家庭での学習環境や読書などの状況を調査するものです。質問は全部で 77 項目ありました。

□全国平均と比較して特によい項目

- ・自分にはよいところがあると思う。
- ・人が困っているときは、進んで助けている。
- ・各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った。
- ・先生は分かるまで教えてくれていると思う。
- ・学級会における話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりしている。
- ・国語の勉強は好きである。
- ・国語・算数の学習は、将来役立つと思う。

□全国平均と比較して気になる項目

- ・授業で、タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用したか。
- ・授業時間以外に、タブレットなどの ICT 機器を勉強のために使っている。
- ・昼休みや放課後に、本を読んだり借りたりするために学校図書館に行く。
- ・新聞を読む。
- ・自分の考えを発表する際、うまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てを工夫した。
- ・算数・英語の勉強は得意である。

取り組んでいく(取り組んでいる)こと

全ての学年で、基礎学力の定着を図る取組と授業改善を進めていきます。

◆基礎学力の定着

- ＊朝学習（読解ドリル、スピーチ、聞く・書くトレーニング、苦手な単元のプリント学習）
- ＊話す・聞く・書くスキルの活用場面の設定
- ＊漢字の定着（50問テスト）
- ＊語彙の習得（学習用語・語彙集・国語辞典の活用）
- ＊日常場面での重さ、面積、体積等の予想
- ＊補充学習（個別の課題に応じた指導）
- ＊家庭学習の充実（学年に応じた質と量、自主学習）
- ＊6年生への算数（4・5年の内容）の補充学習

◆授業改善

- ＊学校訪問において、課題が見られた「書くこと（構成）」の指導に係る研究授業及び研究協議を行う。
- ＊教員研修において、ICT 機器を効果的に活用した授業づくり、国語科「書くこと」の指導における具体的な手立てについて学ぶ。
- ＊説明的文章を読む単元では、どのように書かれているかに着目させ、構成や表現の工夫を読む活動を取り入れる。
- ＊算数用語を学習するときには、定義を理解できるように指導する。
- ＊考えを説明する数学的活動では、説明の仕方や用語の活用について丁寧に指導する。

◆読書習慣の定着と読書活動の充実

- ＊昼読に加え、家読を推進し、読書ノートを継続的に活用する。
- ＊各教科等の授業において、意図的な読書活動を設定する。